

伝統を学び・体験

伝統産業体験学習

9月27日から30日の日程で、白石中学校2学年による伝統産業体験学習が行われました。この取り組みは、新型コロナウイルス感染症の影響により例年開催している市内企業などへの職場体験学習に代わって、郷土の産業を守り引き継いでいる職業について学ぼうと開催されたものです。

弥治郎こけし村の学習では、こけし工人からこけしの歴史について学んだ後、こけしの絵付けを体験。また、蔵王酒造では日本酒造りの製法について学習し、日本酒を作るときに行う「かい入れ」の作業を体験しました。生徒からは「日本酒ができるまでに沢山の人が携わっていて、すごい手間が掛かっていることに驚きました」と話してくれました。

そのほかに白石和紙を使った文鎮作りや、白石産ササニシキのブランド化への取り組みについての学習も行われました。



1_ 弥治郎系こけしの伝統的な絵付けに挑戦しました
2_ 蔵王酒造の蔵の中で真剣に話しを聞く生徒たち

自己ベストを目指して！

第54回白石・刈田陸上競技選手権大会

9月25日、白石川緑地公園陸上競技場で「第54回白石・刈田陸上競技選手権大会」が開催されました。今大会では、新型コロナウイルス感染症防止のため、場内への入場制限や大声での応援自粛を求めるなどの対策を講じての開催となりました。この日は市内外から約380人が参加し、トラック競技31種目、フィールド競技18種目を行いました。雨が降るコンディションの中でしたが、新記録が6種目樹立され、選手たちは日ごろ鍛えた力を発揮していました。



▲100m中学生男子決勝。ゴールへ向かい力走する選手たち

「白石噺」 伝承の地で稲刈り

大鷹沢「八枚田」で稲刈り

10月6日、奥州白石仇討ち噺で有名な大鷹沢地区「八枚田」でもち米の稲刈りが行われました。この日は、大鷹沢小学校の3・4年生の児童8人と地元の方々が集まり、鎌を使いながら30分ほどで稲を刈り取っていきました。

参加した児童は「田んぼの泥に足がはまりそうになったけど、鎌でうまく刈ることができました」と話してくれました。

八枚田の日ごろの維持管理は、白石陽光園「八枚田」に御協力をいただいています。



▲地元の方々に教えてもらいながら稲刈りをしました

おいしい新米ができました！

白石産ササニシキ新米お披露目

おもしろいし市場のオータムフェアの初日、10月16日に「白石産ササニシキ新米お披露目」が開催されました。例年、新米の販売にあわせて「試食会」を開催していましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたため、販売を開始するオータムフェアでのお披露目となりました。

セレモニーでは、宮城白石産ササニシキ復活プロジェクトの齋藤重雄代表から「8月の気候が安定せず水の管理に苦労しましたが、とてもおいしいお米ができました」とあいさつ。関係者がテープカットを行い販売を開始しました。

この日は、販売を待ちわびた多くの方が販売開始前から集まり、先着100人には白石産ササニシキの新米2合がプレゼントされました。

また、地域活性化を目指す白石高校の生徒たちによる白石産ササニシキを活用した研究成果の展示発表もあわせて開催されました。



1_ オープン前のテープカットの様子、令和3年度産ササニシキの販売がスタート！ 2_ 白石高校の皆さんも会場を盛り上げました 3_ 会場では白石市緑化推進協会による緑化木の配布も行われました

安心して遊べる遊具に

公園遊具の塗装ボランティア

10月10日、宮城県塗装業組合連合会仙南支部による公園遊具の塗装ボランティアが行われました。宮城県塗装業組合連合会仙南支部は、仙南の塗装業者8社からなる組織で、毎年仙南の公園を順番に回り、無償で遊具の塗装を実施しています。この日は市内の堂形公園のブランコ、滑り台など4つの遊具を塗装しました。同会の大島博志仙南支部長は「子どもたちがきれいな公園で遊べるようにこれからもお手伝いしていきます」と話してくれました。



▲ジャングルジムを丁寧に塗装する会員